

市長記者会見資料  
令和4年11月1日

令和4年度第2回いわき市総合防災訓練【地震・津波編】の実施について

災害対策基本法に基づき、市民の防災意識及び職員の災害対応力の向上を図るため、別紙のとおり、実施します。

(事務担当)  
災害対策課 地域防災係  
電話 22-1153

## 訓練概要

令和4年度市総合防災訓練のテーマ  
**「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」を目指して**  
～新型コロナウイルス感染症対策をふまえた防災訓練～

## 訓練のポイント

- 石油コンビナート災害と大規模自然災害の複合災害対応（公助力の向上）
- 市民参加型の訓練（自助・共助力の向上）
- 災害時応援協定事業者等との連携確認

- 1 日時 令和4年11月26日（土）午前8時30分から午前11時30分まで ※ 気象警報等発表時は、中止。
- 2 訓練想定 令和4年11月26日（土）午前8時30分、福島県沖で発生したマグニチュード7.7の地震により、市内では最大震度5強の揺れを観測し、福島県沿岸に津波警報が発表、内陸部に土砂災害が発生。
- 3 参加機関 第2管区海上保安本部（福島海上保安部、仙台航空基地）、国土交通省東北地方整備局（磐城国道事務所、小名浜港湾事務所）、自衛隊福島地方協力本部（いわき地域事務所）、陸上自衛隊（第44普通科連隊、第6高射特科大隊）、福島県（危機管理部、いわき地方振興局、小名浜港湾建設事務所）、福島県警本部（災害対策課、警備課（航空隊）、機動通信課、いわき中央署、いわき東警察署）、いわき地区石油コンビナート等特別防災区域協議会、小名浜共同防災協議会、常磐地区広域共同防災組織、小名浜石油(株)、いわき市消防団、双葉地方広域市町村圏組合消防本部（以下「双葉消防方部」という）、（一社）いわき市医師会、（公社）福島県隊友会、東北電力ネットワーク(株)、(株)いわき市民コミュニティ放送、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、日本工営(株)など

参加人数  
約1,500人  
(見込み)

いわき市での  
県総合防災訓練開催は  
平成18年度以来  
16年ぶり

## 福島県総合防災訓練

## 福島県石油コンビナート総合防災訓練

いわき市内での  
実動訓練は  
平成21年度以来  
13年ぶり

## 福島県広域津波避難訓練

概要：福島県沿岸10市町を対象に行う津波避難訓練  
本市：市総合防災訓練の一環として実施  
・石油コンビナート総合防災訓練にて事業所（小名浜石油(株)）の参加  
・災対各地区本部訓練にて市民の参加

- 1 場所 小名浜石油(株)敷地内（泉町下川字大剣地内）※海上含む
  - 2 訓練内容 ○ 津波避難訓練 ○ 防災本部・現地本部設置訓練 ○ 負傷者救助救出訓練  
○ 救護所設置訓練 ○ 流出油漏えい対応訓練 ○ タンク火災訓練
- ポイント1 防災関係機関の役割分担、連携の確認に主眼を置いた基礎的訓練を実施。  
ポイント2 ヘリコプターやドローン等を活用した映像伝送訓練を実施。

事業所職員が  
津波避難訓練  
に参加

沿岸部の市民が  
津波避難訓練  
に参加

県災害対策本部  
市災害対策本部  
情報連携

## 市民の防災意識高揚

## いわき市総合防災訓練

## 職員の災害対応力向上

### 1 災対各地区本部訓練

災対各地区本部計画による避難所開設・運営訓練、資機材取扱訓練、防災講話等を実施。

地区本部	訓練テーマ	主な内容	会場
平	避難行動要支援者の確実な避難体制の確立	シェイクアウト（安全確保行動）訓練、津波避難訓練 避難所開設運営訓練、資機材取扱訓練、防災講話	藤間中学校
小名浜	津波に備えた避難体制の充実・強化	シェイクアウト（安全確保行動）訓練、津波避難訓練 避難所開設運営訓練	小名浜西小学校
勿来	地域住民（自主防災組織）が主体となった避難体制の確立	シェイクアウト（安全確保行動）訓練、津波避難訓練 避難所開設訓練、防災講話	勿来第二中学校
常磐	災害時の要支援者を含む避難行動の確認	避難訓練（要支援者を含む）、避難所開設訓練 防災講話	藤原小学校
内郷	避難行動要支援者への対応	シェイクアウト（安全確保行動）訓練、資機材取扱訓練、 避難所開設・運営訓練、防災講話、非常食配布訓練	内郷第一中学校
四倉	自主防災組織を主体とした住民主導による避難訓練	津波避難訓練（要支援者を含む）、避難所開設訓練 防災講話	・四倉地区内 ・四倉高校体育館
遠野	土砂災害警戒区域における地域住民が主体となった避難訓練	シェイクアウト（安全確保行動）訓練、土砂災害情報伝達訓練 避難誘導訓練、避難所開設運営訓練（避難行動要支援者 等の避難支援訓練を含む）	上遠野小学校
小川	地震家屋倒壊に伴う避難所開設訓練	情報伝達訓練、避難誘導訓練、避難所開設訓練 （自主防災組織の主体による避難所開設・運営訓練）	・小玉小学校体育館 ・山ノ入公民館
好間	自主防災組織を中心とした地域防災力の向上	避難行動要支援者マップ作成の事例紹介、防災講話 資器材取扱訓練・応急手当訓練、非常食配布訓練	好間公民館（講堂等）
三和	地震による土砂災害を想定した訓練	情報伝達・避難誘導訓練、避難所開設・運営訓練 図上訓練（DIG）	下永井公民館 他
田人	地区の孤立化に対応した要支援者支援について	避難誘導訓練、避難誘導訓練（避難行動要支援者） 避難所開設訓練等	荷路夫集会所
川前	地域の危険と防災対応を考える	防災運動会	川前活性化センター
久之浜・大久	災害発生に備えた防災資機材の取扱訓練	津波避難訓練、避難所開設運営訓練、防災資機材取扱訓練 防災講話	筒木原集会所

### 2 情報伝達訓練

- ・津波警報の発表及び避難指示の発令を防災行政無線屋外拡声子局等により伝達。
- ・消防車両による津波警戒広報（「大規模災害時の消防活動計画」に基づいた津波被害警戒区域内における活動可能時間を踏まえた広報活動）
- ・FMいわき緊急割込み放送、緊急速報メール（エリアメール）、防災メール等

### 3 災害対策本部設置訓練

災害対策本部会議の開催、防災関係機関のリエゾン参集、市民や報道からの問合せ対応、自衛隊への災害派遣要請、緊急消防援助隊派遣要請、DMAT派遣要請、県への災害報告等を実施する。

- (1) 職員参集訓練【市災害対策本部・全職員】  
職員参集メール等により、職員を参集するとともに、安否確認を実施する。
- (2) 支援物資要請訓練【県災害対策本部・市災害対策本部】  
市から県へ支援物資を要求する訓練を実施する。
- (3) 石油コンビナート災害・大規模自然災害の複合災害対応訓練  
地震により、市内で発生した複合災害への対応訓練を実施する。
- (4) 報道対応訓練【市災害対策本部：広報広聴班】  
いわき市長による臨時記者会見を実施する。

複合災害対応訓練は  
市内初

### 4 災対各部等における訓練

【訓練期間】 11月14日（月）～26日（土）  
シェイクアウト（安全確保行動）訓練、夜間等緊急連絡体制の確認、災害対応業務確認等の防災意識の向上を図る取り組みを災対各部等がそれぞれ計画し、訓練期間中に実施する。

## 災害時応援協定事業者等との連携訓練

### 5 災害時の協定を締結した事業者等との訓練

- (1) 福島テレビ及びFMいわき  
いわき市長から市民への緊急メッセージを発信する。
- (2) 佐川急便(株)及びヤマト運輸(株)  
避難所への物資輸送及び支援物資の受入拠点の開設手順の確認を実施する。
- (3) 福島県警察本部ヘリコプター  
福島県警察本部のヘリコプターによる上空からの映像を伝達する訓練を実施する。
- (4) 日本工営(株)（流域治水の推進に関する連携協定）  
津波避難訓練参加者にICタグを事前配布し、避難行動のモニタリングを実施。

(2)～(4)の訓練は  
市内初